

豊中の政治を変えよう！

かんばらこういちろう

神原宏一郎の
つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～

豊中市議会議員
無所属・市民派

若い力で新しい政治を実現します！

◆速報！！委員会視察 ～この時期、議員はいろんな所に視察に行きます！！～

建設水道常任委員会視察報告

<7月7日(一日目):静岡県焼津市>

焼津市役所で耐震診断・耐震改修等に関する事業・取り組みについて学びました。

(焼津市のプロジェクト「TOUKAI(東海・倒壊)-0(ゼロ)」とは?)～『命あつての物種』ではないの!?!の巻～

予想される東海地震から市民の生命を守るための住宅等の耐震化に向けたプロジェクト。地震による死傷者の減少、市街地の防災性の確保、震災後の早期復旧を目指し住宅・建築物の耐震診断、補強計画策定、耐震補強工事、建替えなどに、国や県とともに補助金を支給、補助金の予算計上は総額5千万円以上。しかし、実際には住宅の耐震化が進んでいないとのこと。一概に住民側が耐震化に無関心とは言えませんが、主な理由として「耐震診断をしても、地震で倒壊するのは予想がつくのでやらない」、「耐震診断の結果を見るのが怖い」、「工事が面倒」、「現在の生活スタイルに影響が出ないか心配」などです。『命あつての物種』ということをも市民一人ひとりが、より真剣に考える必要がある気がします。災害は発生しないことが望ましいですが、万一発生しても被害を最小限にするために耐震化など防災対策をします！！阪神大震災の際に大阪府内で最も被害の大きかった豊中市も行政・市民一体となって、耐震化を進めていく必要性を強く感じました。

空港問題調査特別委員会視察報告

<7月18日午後:大阪航空局>

大阪航空局で、今年度の空港問題調査特別委員会の活動計画を報告しました。
～「空港を活かしたまちづくり」って夢物語!?!の巻～

空港問題調査特別委員会では毎年、国土交通省や大阪航空局に委員会の活動計画・基本方針・取り組み事項の報告と要望(陳情)を行っています。昨年、高知空港でのボンバルディア胴体着陸事故や那覇空港での中華航空機炎上事故、さらに大阪空港でも管制トラブルがあり、近隣住民には危機感、不安感が募りました。そういった安全面の対策に積極的に取り組むとともに空港周辺の緩衝緑地整備事業の早期完了を要望しました。同時に「大阪国際空港を活かしたまちづくり」にも積極的に取り組んでほしいと要望しましたが、安全面や環境面の対策推進と空港の発展促進の両立は矛盾する気がして、具体的な方策が見えてきません。

<7月8日(二日目):神奈川県川崎市>

川崎市役所で浸水対策事業について学びました。

(浸水対策事業)～自助・共助の意識向上を!!の巻～
川崎市の主な浸水対策は、雨水貯留施設の配備、5年に一回程度発生する降雨(時間雨量52mm)ではなく10年に一回程度発生する降雨(時間雨量58mm)に対応する下水道整備、河川整備、合流式下水道の改善です。また、防災意識の向上を図るため、市のホームページ上で浸水実績図を公表、浸水被害に見舞われる危険性のある方々に土嚢を提供するなど、自助・共助の促進に努めています。川崎市は政令指定都市で設備の規模、予算規模がかなり異なりますが、豊中市も一昨年8月の集中豪雨で甚大な浸水被害が生じました。行政だけの取り組みではなく、私たち市民一人ひとりが、自助・共助の意識向上に努めていくべきだと実感しました。

<視察費用>

交通費(注1)	¥31,820
宿泊料(夕・朝食込)	¥15,300
公費支出合計	¥47,120
昼食代(お弁当等)	¥1,050
夕食時の飲み物代	¥1,500
視察先へのお土産代	¥420
個人支出合計	¥2,970

(注1)復路で新幹線の遅延により、特急料金(5,540円)が払戻されたため、市に戻入予定。

<視察を終えての感想>

視察を行って参考になる事例や豊中市に応用できそうな事例がありました。

でも、二日間を通して肝心の視察時間がとても短く、現場を見学することも出来ず、職員の話在市役所内で聞いただけで、物足りなさもありました。せっかく遠出しているのだから、事業現場を見学したかったです・・・(ーー)!!

◆続・どうする豊中市の事業、市民サービス

当初の大阪府財政再建プログラム案では、豊中市への府支出金削減額は本年度約1億7千万円、来年度約4億2千万円になる見込みでした。しかし、その後の府民からの要望・陳情、府庁内での折衝、府議会での議論の結果、豊中市にとっての影響額は本年度約9700万円、来年度約3億8千万円になる見込みとなりました。

『大阪維新』プログラム案の府支出金削減見込額

	2008年度	2009年度
まちづくり推進部	38,932	38,932
健康福祉部	38,067	253,324
子ども未来部	4,697	15,340
上下水道局	3,924	5,232
人権文化部	3,518	25,663
教育委員会	2,780	37,211
豊中病院	2,000	2,000
市民生活部	1,930	4,767
総務部	1,300	1,300
環境部	0	49
土木部	0	0
合計	97,148	383,818

(単位:千円)

「小学校1・2年生の35人学級の継続」、「障がい者小規模通所授産施設や障がい者福祉作業所の助成費削減の廃止」、「小学校の警備員配置補助金が来年度以降廃止されるが、府からの補助金が廃止になっても豊中市単独で事業継続をする見込み」など、市民にとって改善されたことがあります。しかし、「高齢者在宅改造費助成費の廃止」、「街かどデイハウスの補助金削減」など今後が不安視されることも残っています。



『大阪維新』プログラム案に対する「これは困る」、「こういうやり方はどうか」など市民のみなさんご意見・ご提言をお聞かせ下さい。市民の意見を出来る限り集め、市議会でも議論したいのです。職員の方々からの情報提供もお待ちしております！！

(注) 太字は削減見込みが増加、下線は減少したケースです。あくまで試算であり、今後変動することがあります。

◆どんだけすんの年金からの天引き

～介護保険料に、国民健康保険料に、住民税まで・・・～

市民から「今年の10月から国民健康保険料(国保料)が年金から天引きになると通知が来たが、天引きはしないでほしい」とのご意見が寄せられています。年金から天引きされないようにする方法がないか調べてみると、介護保険料については65歳以上の年金受給者で年額18万円以上の方は特別徴収(年金から天引き)が原則となっていますが、減免措置を受けられたり、申請をすれば普通徴収に変更するといった柔軟な対応がとられています。実際に毎年1000名を超える方が普通徴収で納められています。

ということは、10月から国保料が年金から天引きされるようになって、普通徴収変更申請をすれば、ある程度柔軟に対応してもらえそうです。さらに、今年の9月議会には住民税を年金から天引きする条例の改正案が提出される予定となっています。この条例改正案が可決されると来年10月から住民税も年金からの天引きとなります。後期高齢者医療制度で保険料の年金からの天引きが大問題になったのに、なぜ、国は次から次へと年金からの天引きにしようとするのか全く理解できません。

なかには「特別徴収になると納付する手間が省けて都合がよい」という方もおられるかも知れませんが、せめて特別徴収・普通徴収を選択できるような制度にすべきだと私は思います。今後、議会でも議論していこうと考えていますが、みなさんはこのような何でもかんでも年金から強制的に徴収する制度についてどのようにお考えになるでしょうか？



発行元 前向きひろば ～Positive Square～

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2階
TEL&FAX:06-6854-5664

平日(祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

http://www.tcct.zaq.ne.jp/positive-square/

「つながり日記」毎日HPで更新中！！

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。

前向きひろば 神原宏一郎 事務所

